

大雪の影響で建物・営業被害甚大

2月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

概況

2/14～15の記録的な大雪の影響で工場被害や物流の混乱が発生している。小売店や温泉旅館では営業できない状態が続き、大幅な売上の落ち込みが見られる。また、生産農家ではハウスの倒壊が深刻で被害の長期化も懸念される。

製造業	食料品		パンは大雪の影響で来客数が減り、学校が休校のため給食数が減少し売上が減少している。菓子も来客数の激減や注文のキャンセルが発生し収益が悪化している。製麺も雪害による工場等の操業低下や取引中止に伴い、荷動きが悪化して厳しい状況である。酒造は、純米吟醸酒・本醸造酒を中心に売上順調である。
	繊維・同製品		婦人服地は、端境期のため低調である。輸出向けも中国が旧正月休みのため低調である。和装織物は、夏物関連が前倒しの傾向である。伊勢崎織物は贈答用の服飾工芸品関係が安定的に推移している。ニットは、消費税増税に伴う駆け込み需要は見られない。繊維製品は加工賃が安価で売上が低迷している。
	窯業・土石製品		大雪の影響で、生コンは出荷が止まり売上高は前年割れである。コンクリートブロックも出荷が滞り売上が減少、建物被害も発生している。砕石も、全体的に適正価格による取引に戻りつつある中、大雪で出荷量が落ち込む。コンクリート製品は、需要増で販売価格の値下げ要請が鎮まる。
	機械・金属		企業による繁閑の差が大きく、自動車関連、遊具制作業は忙しい。富士重工の米国の順調な販売を受け、関連下請企業も追従して好転している。電機関連は在庫調整による生産縮小の動きが目立つ。金型は、仕事量に減少傾向が見られるが昨年並みに推移している。一方、建設関連はやや鈍化している。
	その他の製造業		紙加工品は、大雪の影響で一部工場の損壊による操業停止や注文のキャンセルが発生している。印刷業は官公需の減少が著しく、アウトサイダーによる赤字覚悟の利益を度外視した受注が多い。ゴム製品の景況感が良い。
非製造業	卸売業		卸売業は、機械器具、建築関連の収益が好転している。農産物卸は、大雪の影響で流通が3日間停止し、野菜の相場は一時2～5割程度上昇している。水産物卸は、大雪の影響で入出荷が停止し大幅に売上が減少している。
	小売業		中古車オークションは、需要期と駆け込みで出品・成約ともに高水準である。燃料小売は、大雪の影響で需要が落ち込み売上は減少している。生花小売も注文品のキャンセルが発生しており、市場の品目も激減している。商店街は、アーケードの倒壊やイベント中止により客足が遠のいている。
	サービス業		温泉旅館は、大雪の影響でキャンセルが相次ぎ、交通網がマヒしたため休館も止む無しといった状況である。不動産取引は、甘楽地区では、人口減少が進み、建売、賃貸アパート、事業用物件ともに取引は低調である。建築設計は、耐震改修促進法改正の影響で耐震診断の相談件数が増加している。
	建設業		総合工事業は、大雪の影響に伴う工事遅延を危惧している。また、除雪作業を委託された業者は、これまでの人員削減の影響で作業に遅れが発生している。電気工事業は繁忙が続く中、降雪で壊れたテレビアンテナの修理が殺到して超多忙の状態である。鉄構業は、仕事量は多く繁忙の状態が続いている。
	運輸業		大雪の影響で倉庫への被害や荷物の延着等が発生し、現場は混乱している。また、渋滞に伴う配送時間が長時間化し、野菜の輸送量は3割程度減少している。一方、消費税増税前の駆け込み需要の影響で自動車、機械の輸送量は増加している。小口輸送も配送の延期やキャンセル等が発生し売上は減少している。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 112.3(前月比+6.4%)「県統計課・1月」
- 販売電力量 144,866万kWh(前年同月比+2.4%)「東電群馬支店・1月」
- 住宅着工戸数 1,093戸(前年同月比+12.3%)「県建築住宅課・1月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規1.70倍:有効1.16倍「群馬労働局・1月」
- 大型小売店販売額 230億円(前年同月比+0.2%)「経済産業省・1月」
- 消費者物価指数(全国) 100.7(前年同月比+1.4%)「総務省統計局・1月」
(鉱工業生産指数は17年=100とした指数・消費者物価指数は22年=100とした指数)